

外来種ミドリガメ 駆除推進へ

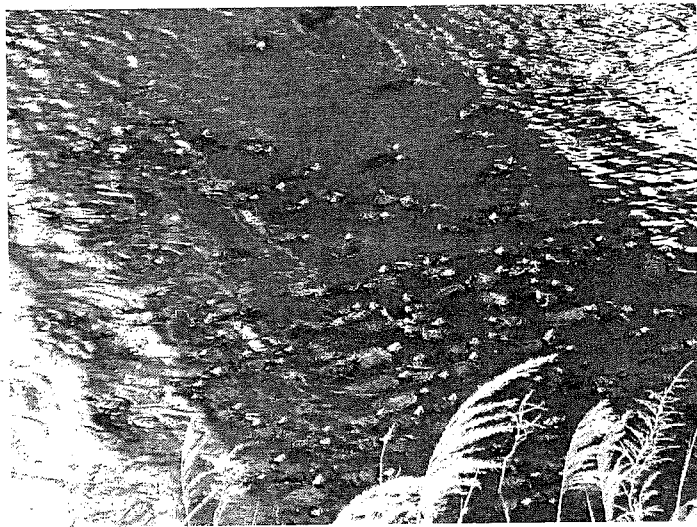
明石市

日本固有の生態系を守る
うと、明石市は26日、外来
種のミドリガメ（ミシシッ
ピアカミミガメ）の駆除を
進める新たな施策を発表し
た。

市では、平成22年ごろか
らため池や川などでミドリ
ガメが確認され、ため池の
ハスが芽を食べられる被害
で減少するなどしたため、
25年度から駆除を本格化さ
せている。

市は今回、明石クリーン
センター（大久保町松陰）

一時保管用プールを設置 肥料で再利用の方法研究



日本固有の生態系に影響を与えて
いるミドリガメ (明石市提供)

内に最大千匹のミドリガメ
を一時保管できる縦5メートル、
横9メートルの専用プールを設
置。処分したカメを肥料と
して再利用する方法などを
研究するという。また、児
童に安易に外来種の生物を
棄てないように訴えるDVD
を製作するほか、外来種の
駆除の講習会も実施する。
市は今年度当初予算から
130万円を計上しており、
環境総務課の担当者は
「駆除を進めるとともに、
捕獲したカメの再利用の仕
方を今後も探っていくた
い」と話している。